

# 関西やんぼし会

## 第13回 会報

熊本県立大津高等学校  
関西地区同窓会

### 会長就任後の1年

関西やんぼし会 会長  
第14回卒 日吉靖夫

昨年（平成26年10月25日）の関西やんぼし会の総会において、会長に選任され就任いたしました。以下、1年間の活動を振り返ってみます。



会長就任の翌日は関東やんぼし会の総会にお招きを受けておりましたので出席いたしました。出席者は100名であり非常に盛会でした。私と同期の人も15名出席されて

おりました。関東在住の卒業生は関西在住よりはるかに多いことを考えても、関西やんぼし会はもっと出席者の増加を図っていかなければならないと思っておりました。

11月8日は「第30回関西熊本県人の集い」（関西熊本県人会連絡協議会主催）に出席いたしました。熊本県の高等学校の同窓会の関西支部が33団体・約250名が出席いたしました。10名以上出席している団体もあり各学校とも同窓会活動を活発に行っているように見受けられました。

今年に入ってからからは2月13日に関西熊本県人会連絡協議会・理事会に出席いたしました。56の団体が加盟しております。

7月5日には実行委員による相談会を開催して総会对策等について検討（特に総会参加のメッセージ等）を行いました。



7月18日には揚鷹同窓会役員会が大津町で開催され出席いたしました。大津町町長・菊陽町町長（2人共大津高校出身）も出席されておられました。徳永会長は挨拶の中で同窓会の活性化を図っていかねばならないと話されていました。

3月1日・7月26日には関西やんぼし会役員会を開催し、会則の変更等総会に提出する議案を協議いたしました。

今年も大津高等学校サッカー部が近畿インターハイに県代表として出場しました。会場は兵庫県の10か所のサッカー場で試合が行われました。



8月2日に私と塚元事務局長とで宿舍の舞子ビラ訪問し、差し入れをしてまいりました。

試合は8月4日の大分

高戦は3-1で勝利、今年こそ日本一を期待しましたが8月5日の関東一高で前半は1-0とリードしたものの後半4失点、1-4で残念ながら敗れました。

関西やんぼし会の皆様は猛暑の中遠いところまで応援に出かけて頂き本当にありがとうございました

### 選手権大会での優勝を期待しましょう！

#### 特別寄稿

熊本県立大津高等学校  
校長 瀬口 和弘

関西やんぼし会の会員の皆様にはますます御健勝のこととお喜び申し上げます。緒方一夫校長先生の後任として、着任しました瀬口と申します。よろ



しくお願いいたします。同窓生の皆様には、日頃から大津高校の教育活動に対し、多大なる御支援・御協力を賜り、心から感謝申し上げます。

生徒諸君は、同窓会、そして保護者・地元の皆様の温かいまなざしの中で、文武両道を果たしながら、明るく活気溢れる学校生活を送り、地域に深く根ざした阿蘇・菊鹿の拠点校として、さらに大きく飛躍するために頑張っております。

さて、今春の国公立大現役合格者数は、36名でし

た。地域進学重点校として着々と地歩を固めています。部活動では、県高校総文のパレード部門及びステージ部門に参加して質の高い演奏を披露した吹奏楽部や、美術・工芸部門の最優秀賞に輝き全国大会県代表として出品される3年佐々木真輝さんの「セグロアシナガバチ」が展示されました。また、高校総体においてはサッカー競技で、男子が5年連続18回目の優勝。少林寺拳法の団体演武等の全国総体への出場権獲得。陸上競技の3年水村大樹さんが男子110mH優勝、男子八種競技では、3年藤本奏太さんが2位、女子七種競技では、3年高鷹瑞希さんが3位でした。バスケットボール競技では、女子ベスト4、男子ベスト8。その他、個人戦や団体戦、いずれも一生懸命打ち込んでいる本校生を目の当たりにして、強く心を打たれました。

今年度も私ども教職員は、「生きる力」を身に付けてもらうために、学力の基礎・基本の定着と、それに基づく課題解決能力の育成を図り、豊かな人間性を身に付け、激しい社会変化にも冷静に対応できる生徒を社会に送り出そうと、一致協力して努力してまいります。また、生徒諸君が、すべての教育活動を通して、心に美しさ、希望、歓喜、勇気、活力を持ち続け、実りある高校学生生活を送ることも目指してまいります。

生徒が自信と誇りを持ち、地域の方々に愛され、信頼される知・徳・体の調和のとれた生徒を育て、そして、生徒・保護者の願いを実現し、社会の有為な人材の育成に邁進していきたいと考えておりますので、今後とも同窓会の皆様方には、様々な面の御指導・御鞭撻を、どうぞよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、関西やんぼし会の益々の御発展と会員の皆様の御活躍・御健勝を祈念申し上げ、挨拶いたします。

## 特別寄稿

### 熊本県大阪事務所

所長 中川 誠

第13回関西やんぼし会が盛大に開催されますことを、心からお喜び申し上げます。

また、関西やんぼし会の皆様におかれましては、日吉会長を中心に、ふるさと熊本の発展のため、日頃から格別のご支援、ご協力をいただいております

ことに心から感謝申し上げます。

さて、今年は蒲島県政2期目の総仕上げの年であり、これまでに種を撒き、芽が出た取組みの「華」を咲かせ、実を結ばせるよう、しっかり取り組んで



おりますので、今後とも皆様のお力添えをどうぞよろしくお願いいたします。

そこで、熊本県大阪事務所では、その最前線基地として、関西地域等からの観光客誘致、県産品の販路拡大及び企業誘致活動を通じた経済振興を図るため、各種イベントの実施や新規企業訪問等に積極果敢に取り組んでおります。その中で、例年10月に豊中市のせんちゅうパルにて開催しております「熊本県の観光と物産展」ですが、今年は、10月9日から12日の4日間において、先般登録された世界文化遺産（万田坑・三角西港）を始めとした見どころ多い観光情報や豊富な特産物等の魅力を強力に発信して参ります。

次に、くまモンですが、関西においても、来年2月には、「くまモンファン感謝祭2016 in OSAKA」の開催を予定しており、集まってくまモンファン等へ対し、様々なパフォーマンス等により感謝の気持ちを還元することにより、くまモン＝熊本県の応援団になっていただき、更に関西における本県の認知度を向上させていきたいと考えております。

今後とも、熊本県と関西・東海エリアの「ヒト、モノ、コト（情報）」交流の最大化を図るとともに、更なる郷土熊本の発展のため、大阪事務所職員一丸となって各種事業を展開して参りますので、引き続き皆さまのご支援・ご指導を賜りますようよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、大津高等学校と関西やんぼし会の益々のご発展と、会員の皆様方のご活躍・ご健勝を心から祈念申し上げます。

## 特別寄稿

### 母校・大津 近況報告

大津高校校内幹事 第26回卒 内田 勝弘

先月二十九日（土）大津高校鷹揚同窓会総会を大津町「ピアパレスみいけ」で開催しました。総勢約百五十名の参加があり盛会の内に無事に終了し、校

内幹事として安堵しているところです。今回の総会では特に、高校十回、十一回、十二回、十三回の諸先輩の参加が多くあり、昨年の約百名から大幅に参加者の増加がありました。これも各学年幹事の皆様のご努力の結果かと思えます。御礼と感謝を申し上げます。

今現在、校内幹事は私と国語の嶋田恵介先生（高三十五回生）、事務室の清水さん（高四十回生）と三名です。九十周年行事を終え、定例の同窓会事業を進めていますが、嶋田先生と私は担任業務も抱え、会員の皆様に十分な対応ができているか心配なところです。

さて、私も母校の美術教師として赴任し十年を過ぎました。正門横の白亜の美術棟で、意欲的で活発な生徒たちと過ごせたことを、私の在学中の美術の



先生であった日本画の姫野 豊先生、洋画の上野豊先生、それに美術コースを立ち上げ及び環境整備に尽力された洋画の土野精二先生に感謝したい気持ちです。

【追伸】八月二十五日に熊本を通過しました台風は、本校にも多くの被害をもたらして行きました。体育館の屋根が捲れ、床が傷み現在使用不可。根元から倒れた校内の木々五～六本。正門の大銀杏の一本も傾きました。自然には抗えないとは言え、台風が去った当日午後には、黙々と後片付けする生徒たちの姿もあり、彼、彼女らに頼もしさを感じました。（写真は台風の後始末をする生徒諸君）

## 特別寄稿

てっぺんをめざせ！ 大高魂！

関東やんぼし会 会長  
第14回卒 阪本 富士夫

関西やんぼし会の皆様 お元気ですか！ 早いもので小生が総会にお招きをいただいて一年が過ぎ

ました。その時感じたのは、お互いとも“組織の運営・活性化”に苦勞しているな・・・という事でした。このことは各々の同窓会（同期会）も同様だと思います。



私達関東やんぼし会は ① 財政基盤の強化 ② 組織の強化 ③ 若い会員の把握 ④ 同好会の立ち上げ ⑤ 同窓会・総会の魅力化—を目標に活動しています。以下概要を申し上げます。

【財政基盤の強化】⑦若い会員の把握：縦の糸＝先輩・後輩、横の糸：同級生、いずれも学年幹事に以来、鷹揚会の協力が必須。④同好会の立ち上げ：関東やんぼし会には囲碁（月1回）、ゴルフ同好会（年1回）があり活動している。

【同窓会・総会の魅力化】郷里に関係の演出、ふるさと産品抽選会、歌、落語等の招待—例：三遊亭好太郎師匠（大津町出身）のお笑い寄席。

【広報の活用】会員の声、若い人の投稿依頼—などを行っています。

お互いに情報を交換し、頑張りましょう。

昨年、貴会の総会にお邪魔した折り、後半の司会をされた田中さん、機転の利いた素晴らしい進行でした。“うらやましい”気持ちになったことを特記させていただきます。

今、後輩たちは“てっぺんをめざせ！ 大高魂！”ということで頑張っています。

私たちもお互い頑張りましょう。

おわりに、貴会会員の皆様のご多幸、ご健勝をお祈りします。



## デザイナーベビー

第3回卒 今村惟幸

この表題は聞かれたことのない言葉だと思います。

近年における技術の進歩は想像もつかないものがあります。その中でも遺伝子工学の進歩は特質するものがあります。

遺伝子検査は人の細胞の核のなかにあるDNAを

読み取り、その配列を調べ、変異がないかを明らかにします。人のDNAを全て読み取ることは、20世紀末頃までは予想も出来ないものでありました。21世紀に入って長足の技術革新が進みDNA検査が身近なものになって来たのはご承知の通りであります。

そしてDNA検査を利用して最初から病気の少ない赤ちゃんを作り出そうという試みが出て来ました。これが「デザイナーベビー」であります。

そして「3人の親を持つ赤ちゃんが誕生する可能性がある」とイギリスのメディアが昨年報じました。これは両親の異常のある受精卵から中の核だけを取り出し、健康な第三者（女性）の卵子と父親の精子から作った受精卵の核と置き換えることによって、健康な受精卵を作り、それを母親に戻して健康な赤ちゃんを産む核移植術であります。

この赤ちゃんは両親のDNAと卵子提供者である女性のDNAを持つ子であるので、3人の親を持つ赤ちゃんであります。

しかし英国内でも安全性の問題が残っていると懐疑的な意見を持つ学者もいるとのことである。我が国では、この技術の効果は確認されておらず、第三者の卵子を使うため、倫理学上問題があると指摘され厚生労働省の審議会は当分認めないとしています。

科学技術の進歩は往々に両刃の剣である場合があるとされています。このような3人の親を持つ赤ちゃんは成人した時、精神的に苦しむことも想像されます。また倫理の問題を置き去りにされて技術が進むことにより高額のコストに対応できる人だけ恩恵を受けるという新たな格差が生じる可能性があるかと危惧する学者もおります。この問題は非常に難しい課題だと考えられます。

(朝日新聞参照)

## 傘寿を迎える

### 第7回卒 森 唯雄

平成の時代も早いもので27年が過ぎようとしています。

私達の中には傘寿を迎える人もいます。私は来年が傘寿です。80年の間にはいろいろな生活と体験をしました。順次これまでを振り返ってみたいと思います。



私の故郷は阿蘇外輪山の麓で海拔400mの標高にあり、北東には矢護山935m、東南には俵山1095m、西方には大津町、菊陽町、西原村そして熊本市街が一望できる自然豊かな環境に恵まれた所です。

私達は戦前、戦後の教育を経験しました。日本の教育制度は、昭和15年までは尋常高等小学でしたが、昭和16年から戦争激化によって国民学校に改称されました。

当時は食糧不足で、小学校入校時から食糧増産が第一で低学年から高学年まで全員が朝から農作業に従事し、勉強は合間での授業で昭和22年の終戦まで続き、国民学校は終了し新小学制度となりました。

中学時代は片道4Kmを徒歩通学しました。3年間の思い出は何故かあまりありません。不思議です。

昭和27年に大津高校に入学することができました。高校までは中学時の片道4Kmが8Kmとなり、自転車通学となりましたが苦痛は感じませんでした。高校生活は各中学からの人たちと一緒に勉強することができましたが、成績はあまり上がりませんでした。

ただ体育祭や修学旅行等の行事は印象に残っています。また、私達の学年だけは男女共学でなく、男子3クラス、女子2クラスの編成が不思議と良い思い出として残っています。

昭和30年は大不況で就職難でしたがどうにか就職できました。苦難の時代を無事に過ごすことができました。

定年をしてからも20年が経過しました。これからは趣味のマジックと、自治会の活動を今まで以上に頑張っていって、来年の傘寿を健康で迎えることを楽しみにしています。

## 秘境「椎葉村」を訪ねる

### 第10回卒 加藤博行

庭の山椒(さんしゅう)の木 鳴る鈴かけてヨーホイ 鈴の鳴る時や出ておじゃれヨー 鈴の鳴る時や何と言うて出ましょヨーホイ 駒に水

くりよと言うて出ましょヨー

民謡「稗(ひえ)つき節」の里、宮崎県東臼杵郡椎葉村。平家の落人伝説や日本では唯一焼畑農業が残っている村は幾重にも重なる九州山脈の山々に囲まれた奥深い山中にあった。



毎年四月は地元熊本の温泉地で山西中学(現西原)の同期会をやる。例年翌朝解散のため通常我々はゴルフのはずだが今回私の提案で椎葉村を

訪ねた。参加者は五人、車のハンドルを握るのは小、中、高校と一緒に来た0君で実は0君の母親は西原だが父親の出身が椎葉村と聞いていた事もあり以前から「伝説の村」を一度訪れたいと思っていた、だがなかなか実現せずやっとその機会を得た。その0君だが父親を戦争で亡くし戦後の子供時代を母親の里(西原村)で過ごしたものの父親の親戚関係が椎葉に在り成人後は冠婚葬祭をはじめ所用でかなりの回数を往復したように聞いていたので今回案内を兼ねてお願いした。

五ヶ瀬町経由で車も快調に走りあと国見トンネルさえ抜ければ椎葉村というところで数日来の雨に依る崖崩れのため通行禁止。山深い椎葉へのルートは少なく今変更は難しい、仕方なく九州電力高压線鉄塔の保全用山道を迂回し山越えしようとする事になった。

しかしこの山道がたいへんな道(舗装、ガードレールなどなし)で車1台やっと通れる幅しかなく普段は通行が無いとみえ車の輪だち以外は草だらけ、左は車窓すれすれの山肌、右は谷底が見えないほどの深い谷、トンネルを走れば10分程で通過すると思われるところを40分もの間肝を冷やしながらの走行であった。平家の残党が落ち延びた当時は道なき道を女子供を引き連れ命からがらの逃避行、想像以上に大変だったと思う谷の深さである。

壇ノ浦の戦い(1185年)に敗れた平家の残党は諸方に離散した。今も平家落人伝説の地は全国に60~70ヶ所はあるらしいがその中で源氏の追討軍が押し寄せたというのは椎葉の外にはない(村観光協会)。「椎葉村は広く山深い、96%が山林を占め村中に三反と続いた平地はなく人家は山腹を切り広げ

て各々その敷地を構えている」とは民俗学者柳田国男の椎葉像である。明治6年84ヶ村を合併し4ヶ村に、明治22年に合併して今の椎葉村になったとある。現在村に小学校が6校(全生徒数154名)、中学校1校(生徒数62名)、人口は50年前に約9千人だったのが今では3分の1弱の約2800人ここ椎葉は典型的な過疎化が急速に進んでいる村でもある。村民は平家の末裔だけと思っていたのに源氏方の姓も多く歴代の村長名にも那須姓が何人も見られる。椎葉といえば平清盛の孫娘鶴富姫と追討軍の武将那須大八郎の恋物語をうたったのが「ひえつき節」。大八郎が鶴富姫との綾瀬の合図に屋敷の庭にある山椒の木に掛けた鈴を鳴らすが姫は家人のてまえ家から出られない、そこで思いついた口実が「駒(馬)に水をあげてくる」といった冒頭の歌詞に始まり、そのあと鎌倉(幕府)から帰国命令が下り大八郎は椎葉を去ることになるが残された鶴富姫のお腹の中には・・・と歌詞(物語風)は続き(稗をつきながらの唄ゆえか)結構長い。

そう云えば0君の美人の奥さんも椎葉の出である。「世が世であればお姫さん?」・・・いや今回そこまでは調べていない。NHKの番組「ファミリーヒストリー」にでも頼むか。

### 「ほんなこっだろか」籠城戦

第10回卒 今村伍市

去る七月に大阪歴史道の案内ボランティアの資格を取りましたので、いずれご希望の方々を案内したいと思って筆を執りました。

このボランティアは天王寺のみにあり、従って天王寺地区とその近辺の町歩きということになります。

皆様、市街地を歩いていて四角のタイル地の敷石が埋められているのに気付かれましたか?

これは、それが歴史道(昔から人が通っている道)である事を現わしているのです。これら歴史道を歩けば歩く程新しい発見があつて面白いものです。

町の小石や地藏さんにも歴史があり、私達が今ある



のはその歴史あってこそです。

ちょうど大坂の陣 四百年の年町歩きのまえに、この陣で活躍した真田幸村について述べます。

幸村は、慶長十九年に豊臣秀頼の招きで大阪城に入城し、冬の陣では出丸（真田丸）に籠って東軍と戦いました。家康は茶臼山に本陣を置き約 20 万の大軍で城を包囲し、豊臣方は約 10 万で大阪城に籠城したという事です。

玉造の三光神社に真田の抜穴跡がありますが、ここから城まで 2~30Km あると思いますが、それだけ長い穴をよくも掘ったものです。食糧や弾薬を運ぶ積りだろうが、20 万の将兵のいる中でそんな事が出来ただろうか。しかも食糧といっても 10 万人分である。「ほんなこっだらうか」疑問は残ります。

また、城内に籠る 10 万人の大小便の処置、飲料水または煮炊き用燃料等々相当なものです。

戦上手の幸村のこと、いろいろ考えて他に三ヶ所抜穴らしきものを造っております。今回の町歩きで教わりました。茶臼山、安居神社、一心寺の三ヶ所で調査の結果 城までは続いておらず、どうやら食糧や弾薬を貯蔵した穴ではないかという事です。

幸村は夏の陣で、家康は冬の陣で陣を張った茶臼山に本陣を置いております。大阪城は難攻不落の名城として知られておりますが、南方の天王寺方面からの防備が不十分であったので、先ず真田山を出城に戦い、そして夏は茶臼山に人を構えました。茶臼山で残念ながら傷を負い、すぐ近くの安居神社境内で手当をしていたところを徳川方 松平忠直隊の足輕に槍で突かれ落命しました。この神社前の一心寺には敵方の将 本多忠朝の墓があります。五万石の城主は大酒飲みで夏の陣は二日酔いで臨み不覚を取ったのです。これを悔い「俺の墓に詣でれば酒を飲めなくしてやる」と言ったそうで墓石を欠いて行く人がいるそうです。

酒は昔から百薬の長ですが、過ぎると間違いのもとになります。皆様気を付けましょう。

次回より真面目な歴史街案内をします。

## 昨年の総会に参加して

### 第 14 回卒 秋吉 洋

昨年は高校卒業以来 50 数年ぶりに、初めて関西やんぼし会に参加させて頂き、私にとっては大変記念すべき良い思い出となりました。

参加するまでは何か気が重く、なかなか決心がつきませんでした。



幸いにも同期生諸氏から勧誘の声をかけて貰い参加を決意した次第です。総会に初参加し、初めは気恥ずかしさも少々ありまし

たが、参加された同期生の方達の姿を見て気持ちも落ち着き、50 数年ぶりにお会いできたのが非常に懐かしく、お互いに話をしている中に打ち解けて、初めてお会いしたのに以前からの友達のような雰囲気話も弾み、私には忘れることができない嬉しくて楽しい一時を過ごすことができました。

総会に参加して本当に良かったと思うとともに、快活な皆様から元気を貰いました事に感謝しております。

## 青春は“今”!

### あなたも如何ですか・・・ 地球一周のクルーズ

#### 第 14 回 林田 晴次

昨年、古希を記念して 22ヶ国、24 寄港、105 日間の地球一周の船旅を楽しんだ。

乗客 850 人を乗せた 3 万 5265 トンの船は新横浜港を出港。東回りでハワイ島からパナマ運河を通過。ブラジル等南米諸国に立ち寄り、大西洋へ・・・カナリア諸島を観光し、地中海へ。

地中海からスペイン、フランス、イタリア、ソチ、トルコを観光。スエズ運河に入りヨルダン、オマーンを観光。紅海を航行中は海上自衛隊の護衛を受けた。東南アジアではスリランカ、シンガポール、カンボジアを回り帰国へ。



今回の旅では紺碧の海、船行が描く白波、夕焼け、朝焼けの美に感涙。地平線に地球の丸さを実感。一方で民族や宗教紛争等を身近に感じた旅でもあった。また、貧富の差にも驚かされた。近代的なビルのすぐ裏はスラム街だ。平和の有り難さ

や日本の豊かさをかみしめた旅でもあった。

## 初めての中国

### 第14回卒 塚元眞彦

1989年11月 初めての中国出張を命じられた。通常、主原料調達は購買担当役員の職務であるが、その年の6月に起きた天安門事件で担当役員の腰が引け、行けない理由を作りペーパーの私にお鉢が回って来たのである。

伊丹空港から北京に向かうが乗客はまばら、おかげでゆったりとフライトが楽しめた。当時の北京空港は国際空港とは名ばかりで伊丹空港の方が設備も充実しており、駐機場には数機の飛行機がいるだけで閑散としていた。タラップを降りイミグレに向かったが、まず目に飛び込んできたのはカービン銃を携えた人民軍兵士が等間隔で並んでいる光景であった。事件の影響で空港は厳重な軍の監視下に置かれていたのである。

国営商社 TUHSU が手配したバスで王府井近くの和平飯店に着きチェックインを済ませ部屋に入ると毛沢東語録（日本語版）が置かれていて、聖書と同じで時間があったら読みなさいという共産党の配慮だった。ホテル代は1泊 JPY15,000、部屋は広くしかもベッドルームと打合せが出来るような部屋がもう一つ、決して高いとは思わなかったが、工員の月給 4~5,000 円と比べると凄く高いと感じたものである。

商談は事前に数量、品質、希望価格など必要事項を TUHSU に連絡してあり、それに対する回答を貰うだけである。条件が合わない場合折衝可能であるが、若干の譲歩はあっても殆ど折衝の余地なく、Yes か No を迫られる。約 1.5 時間の折衝を持ち帰り翌日サインするだけである。4 日間の北京滞在中 1 社の折衝時間は 1 アイテム 1~2 時間で、我社は 1 アイテムだけなのでこれで終わりである。残った時間は TUHSU が手配した観光に行くことにしたが、折衝当日は神戸の本社に報告のため国際電話を申し込んだところ、繋がるまで 2 時間を要し観光に行くことはできなかった。

3 日目に訪問者全員で観光に行く。観光場所は世界遺産に登録されている 万里の長城、明の十三陵、頤和園、天壇公園、紫禁城などである。これら名所

旧跡に共通するのは広くて大きいことで、そしてどこに行っても人が多く、所かまわず大声で話している中国人観光客の存在であった。マナーの悪さは有名だが平気で痰を吐き、万里の長城では何度も立ションを見せられ、更には有名な中国のトイレも見聞した。観光地はどこも人で溢れており、文革が終わり国内旅行も割と自由に出来るようになって来たので地方から首都 北京に来る人が増えているとの説明であった。人々の服装はモスグリーンの人民服を着ており、出会った女性で化粧をしている人が殆どいなかった。

現在の中国は報道の通り、北京・上海・広州などの国際空港は世界各国からの飛行機で溢れ、街にはエルメス・フェラガモ・ルイヴィトンなど高級ブランド店が軒を並べている。繋がるまで 2 時間待たされた電話も日本の携帯電話でどんな地方に行っても繋がるし、駅や空港・ホテルなどでは無料の Wi-Fi が整備され、インターネットを通じ日本の新聞もリアルタイムで読むことが出来る。中華料理は素晴らしく、行く先々で異なる食材・味を楽しませて



くれる。白酒・紹興酒など美味しいお酒もあり、若い女性はきれいに化粧し素敵なファッションに身を包んでいる。そして社

会主義市場経済により世界第二位の GDP を誇る経済大国に発展することなど 89 年には想像できなかった。このように発展した中国であるがマナーの悪さは殆ど変わっていない。所かまわず大声でおしゃべりし、バス・電車に乗るのに並ばず、強い男が先を争って乗ってしまう。何でも中国が世界一だと言い張ること、日本の文化は全て中国が教えたものであるとの認識、テレビは相変わらず抗日戦争映画を流し「小日本鬼子」（シャオリーベンクイツー）という台詞が必ず出てくるなどなど・・・

そんな中国だが四千年の歴史は随所に感じられ、中国は魅力一杯の国でもある。この先当分の間 中国そして中国人とお付き合いをしていくことになると思っている。（写真：北京名物料理 涮羊肉）

## 事務局便り

大津高校卒業生ではありませんが、世界で活躍する郷土出身選手を応援しましょう。

### ★ 宝塚歌劇

**真風 涼帆** 本名：松谷 諭里華



第92期 宙組 男役 No.2  
宙組に移り、ナンバーワンが近いと評価されています。

### ★ 前田 彩里

陸上 長距離選手  
1991年11日生  
大津町出身 熊本信愛女学院卒  
ダイハツ工業 所属  
マラソン 2時間26分46秒

★ **渡辺 彩香** 第60回 平成20年卒  
INAC神戸レオネッサから。アルビレックス新潟に移籍しました。  
引き続き応援よろしくお願いします。

### ★ 古賀 紗理那

バレーボール全日本代表  
1996年5月21日生  
大津町出身 熊本信愛女学院卒  
NECレッドロケッツ所属  
バレーボールワールドカップで大活躍したのは記憶に新しい。

### ★ インターハイ結果

男子サッカー

2回戦 大津高校 3 - 1 大分高校

3回戦 大津高校 1 - 4 関東第一

少林寺拳法同好会

3年男子 単独演武 準決勝進出

陸上競技

3年男子 八種競技 総合24位

3年男子 110mハードル 予選5位

### ★ 関西熊本県人会連絡協議会

熊本県人の集い

11月14日(土曜日) 17:00~21:00

大阪 太閤園

参加希望の方は事務局までお問い合わせください。

### ★ U-22 日本代表

**豊川 雄太** MF 鹿島アントラーズ  
第65回 平成25年卒

**植田 直通** DF 鹿島アントラーズ  
第65回 平成25年卒

U-22代表CBとして活躍

リオデジャネイロオリンピックを目指している。

### ★ 日本代表 (極東アジア大会)

**谷口 彰悟** MF 川崎フロンターレ  
第62回 平成22年卒

イケメン選手として女性ファンに絶大な人気!